The METRO REPORT
NEW YORK・INDIA・KENYA・PHILIPPINES・ROMANIA・SOUTH AFRICA・PERU

メトロ・ワールド・チャイルド
ニュースレター
2021 年 9 月号

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン　東京都中央区銀座 4-5-1 教文館 6F TFC 内

笑顔は言葉より雄弁！

神の愛を伝えよう―ラブボックス（感謝祭のごちそうセット）

ラブボックスに詰まっているのは、空腹の子どもやその家族のお腹を満たす食べ物だけではありません。昨年は、感染拡大防止の都市封鎖のために、子どもたちの多くと直接会えない日々が続きました。しかし１１月には制限がいくらか緩和されたので、ラブボックスを抱えての訪問は実に心躍るひとときとなりました。ニューヨークのメトロスタッフたちは子どもたち一人一人の笑顔と再会できて幸せでしたし、子どもたちもその家族も、感謝でいっぱいでした。

メトロの運営部門責任者であるジョシュア・リーは言います。「2020 年は、食糧不足が世界的に急拡大しました。

次のページにつづく➤

ラブボックス　１箱 4,200 円

締切 10 月 7 日(木)

ラブボックスの中には、１家族のおよそ一週間分の食料が入っています。
HP からお申込み→ https://metroworldchild.jp/lovebox/

ラブボックスの中身

感謝祭用の七面鳥/野菜と果物の缶詰/米またはパスタ/クランベリーソース/マカロニチーズ/豆/ジュースなど！

ケニア サマーキャンプ開催！

詳細は申込用紙をご確認ください。締切：9/28(火)

スタッフ支援募集！

現地で奉仕するスタッフの伴走者を募集中！

今月号の目次

P2… 笑顔は言葉より雄弁！
P3～4…スタッフが見るスラム
／ビル師からのメッセージ
P5…ケニアキャンプ支援！
／フィリピンクリスマスカード！
P6…日本事務所からのお知らせ

【＊お願い】ご住所を変更された方は、日本事務所までご連絡ください。（自動転送されません）　連絡先は最終ページでご確認ください。

笑顔は言葉より雄弁！　神の愛を伝えよう—ラブボックス

特に、私たちが活動しているケニア、フィリピン、インド、ルーマニアなど、元々貧しい地域はもちろん、さらには私の故郷であるここニューヨークでも、大きな影響がありました。そのような中にあっても、メトロのスポンサーの皆様の素晴らしいお心と、メトロを支援してくださる皆様の思いやり溢れるご協力のおかげで、ここニューヨークの世帯に７００個のラブボックスを届けることができました」。

サプライチェーン(物流や消費の流れ)の崩壊や、インフレの影響で食料を手に入れることが難しい状況がまだ続いていますが、今年もあなたのご協力もいただきながら、心に残るラブボックスを届けられるよう祈っています！

何ヶ月も外に出ていない人々も大勢いました。ハワード家の人たちもそうです。子どもたちは私たちに会えて大喜びでした。特別な食材を受け取ってとても感謝して、私たちが帰るのを待ちきれずに目の前で箱の中身を全部出して見ていました。

中には世代を超えてメトロに関わっている家族もいます。ジョンソン家の子どもたちは幼い頃に教会学校に通っていましたが、成人した今は、自分の子どもたちにもイエス様を知って欲しいと教会学校に通わせています。そして、子どもたちが参加しない時でも母親や祖母は教会学校を手伝いに来てくれるのです。母親は「長年この活動を続けてくださっているお陰で私たちも感謝祭を祝えます。本当に感謝しています」と言ってくれました。

残念なことに、この感染拡大と大規模な失業で、教会学校に通っている子ども（里親制度で支援を受けている子を含めて）の家族の中にも引っ越しを余儀なくされた人々がいました。しかし昨年の感謝祭では、ある家族の引越し先も、メトロの活動地域だったことがわかって本当に嬉しく思いました。

そんな家族にスポンサーから贈られたラブボックスと七面鳥をお届けすると、皆、言葉を失っていました。大変な思いをして辿り着いた地で、まだ引っ越しの荷ほどきも済んでいない中、スポンサーが感謝祭に自分たちのことを考えてくれていたという事実が信じられなかったのです。スポンサーは一家のそんな苦労を知っていたわけではありません。ただ、このような形で神の愛を伝え、伝統的なご馳走でその日を祝って欲しかっただけです。子どもたちは大喜びで、七面鳥や食材の一部を部屋に持って行きました！

この分かりやすい、ラブボックスという恒例の働きを通じて、あなたをはじめとする優しいスポンサーや支援者の方々が毎年、繰り返し神の愛を表してくださっています。今年も子どもたちが感謝祭を祝えるよう、どうか、ご協力をよろしくお願いします。

皆様からのご支援により、メトロは子どもたちが神様と繋がる機会と子どもたちの人生が変わるようなきっかけを生み出すことができます。

どうか今、飢えている子どもたちやその家族のためにできるだけ多くのラブボックスを準備することができるよう、ご協力をよろしくお願いします！

ラブボックス　１件：4,200円
申込締切　１０月７日(木)
https://metroworldchild.jp/lovebox/

メトロ プレゼントを贈る　検索

スタッフが見るスラム

先月に続き、貧困地域であるスラムについてお話しします。今回は、アメリカとフィリピンについてです。

アメリカスタッフ:カローラ

《アメリカ》

日本のスポンサーの皆様に、子どもたちの生活の様子をお伝えできることを感謝します。なるべくうまく説明したのですが、少し長くなりそうです…。

実は、ニューヨークには「スラム」という名前の場所はありません。ですから、「スラムに住んでいます」と言う人はほとんどいません。ただ、「プロジェクトに住んでいます」と言う人はいるでしょう。

ニューヨーク・メトロの活動の中心は、「プロジェクト」という場所です。「プロジェクト」とは、主に1940 年から 1960 年にかけて建設された低所得者用の高層住宅のことです。経済的に困窮している世帯がホームレスにならずに済むよう、手頃な家賃で住める場所を提供することがこの政策（プロジェクト）の目的でした。

プロジェクトという場所には、その一帯が高層住宅で占められています。この住宅はニューヨーク市住宅局が管理しており、入居希望者は当局への申請が必要です。住居の広さは世帯人数によって異なりますが、いずれにしても家賃は一般住宅より安く設定されています。更に、状況によっては家賃の追加補助を申請することもできます。つまり家賃は住人の経済事情に合わせて設定されるため、「家賃は○ドルです」と一概には言えません。収入が低ければ、家賃も低くなるわけです。ひどいケースでは、家賃のほとんどが政府からの支援で賄われることもあります。これらのプロジェクトは、市内の様々な場所にあります。

プロジェクトの住宅には、小さなバスルームとリビングダイニングキッチン、そして寝室があります。小さな食器棚と流し台、冷蔵庫、コンロも備え付けられています。他にも、民間が運営する低所得者用住宅が密集する地域もあり、そこでの間取りや備え付けの設備は、提供者によって異なります。

問題は、プロジェクトや民間の低所得者用住宅は一箇所に集中しているため、貧困に伴うあらゆる事が、狭いエリア内で集中して発生するということです。アルコール中毒や薬物乱用、家庭崩壊、学校中退、暴力、ギャング、売春…。今や、これがプロジェクトの住人たちの生活に定着しています。

住人たちは、何世代にもわたって政府の支援に頼って生きてきました。家賃も、食料品も、学費も。中には、それらの支援を「当然の権利」と考えている人たちもいます。そして、彼らは教育水準が低いので、低賃金の仕事にしか就くことができません。その結果、手っ取り早くお金を稼げる様々な犯罪行為に手を染めてしまうのです。しかも、そのような犯罪の機会は、すぐ身近に転がっています。

フィリピンスタッフ:ハンナ・ロビンス

《フィリピン》

あらゆる場所が、不法占拠のスラム街になり得ます。墓地や建物のすき間、空き地、漁港…。通り全体が、スラムになることさえあります。

スラム街の住人たちの中には怠惰な人もいますが、ほとんどの人が一生懸命働いています。例えば、早朝からごみ捨て場に行き、売れそうなものを探し始めます。早く行かなければ、高く買ってもらえるプラスチックや金属類は無くなってしまうからです。そして日中は家に帰って寝ますが、多くの人は水を運んだり、建設作業を行ったり、お店で働いたりと、別の仕事を持っています。

しかしそれらは、とても「仕事」と呼べるようなものではありません。最低賃金以下の低賃金で、休憩なしで１日１２時間、週７日労働にもかかわらず、１日の報酬がたった３ドルから５ドル程度です。学校を卒業していれば、飲食店やマクドナルドなど、

少し条件の良い店で１日１０ドルほどを稼ぐことができるかもしれません。

フィリピン人にとって、家族は世界で最も大切なものです。彼らは大変な家族思いです。そのため、せっかく大学を卒業してマクドナルドでの仕事を得たとしても、スラム街に住み続けることになります。スラム街に住みたいからではなく、収入の１０ドルを、スラム街に住む家族を養うために使うからです。これが、世代を超えた連鎖から脱出することが非常に困難な理由です。

学校を卒業していなくても、働くための倫理観を持っている人や賢い人もいます。しかし残念ながら、本当に「仕事」と言えるような職業に就くことはできません。またスラム街の住人たちのほとんどは学校教育を受けていないため、学校に行くことの価値を理解できず、ますますスラム街の連鎖が続いていくのです…。

スラム街の報告は、10 月号に続きます

ビル師からのメッセージ

「ＮＹタイムズ・スクエアで起きたこと！」

新型コロナウイルス感染拡大によりロックダウンが1年4カ月続いたニューヨーク市ですが、先日、制限解除が発表されました。そして、市を挙げて「経済再開」が祝われました。

メトロ・ワールド・チャイルドはニューヨーク市警から の依頼を受け、その祝賀イベントの一環として「世界の交差点」と呼ばれるタイムズ・スクエアで特別道端教会学校を開催しました。

40年以上にわたる市への協力を通じて、メトロはニューヨーク市警と素晴らしい関係を築いています。市内5地区においてメトロが子どもとその家族のために活動していることを市警は高く評価しており、また、彼らは実際に私たちの活動の様子も見てきました。当日タイムズ・スクエアにいた警官や警備員の中には、子ども時代にメトロの教会学校に通っていた人たちもいます。

その日、福音が大胆にはっきりと語られました。福音はあらゆる場所で宣べ伝えられるべきものだからです。メトロスタッフはイエス様の御名を証しし、多くの人々が私の説教を聞くためだけでなく教会学校の様子を見ようと集まってきたのは、なんとも感動的なひとときでした。大人も子どももメッセージへの反応がよく、共に歌を歌い…そして、あのメトロ教会学校の黄色いトラックのステージから信仰告白の招きが行われると、多くの人がイエス様を救い主として受け入れ祈りました。

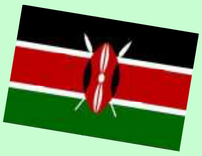
メトロがなかったら、ニューヨークで最も過酷な地域で育った子どもたちは、福音を聞いたりキリストの愛を体験したりする機会はなかったでしょう。神様は、この町の、そして世界の光として、メトロを起こされたのです。そしてあなたはその一部なのです！

このチャイルドスポンサー制度の力が、私たちメトロを「世界の交差点」であるタイムズ・スクエアに立たせ、大きな変化を起こしたのです。あの日、タイムズ・スクエアで大衆にイエス様を伝えた効果がこれからも続き、また、このような新しい扉がメトロの前に開かれ続けることをお祈りください。

いつもお伝えしていますが、あなたがいなければこのような活動は何一つできません。ですからあらためて言わせてください。「ありがとうございます」。この40年間のご支援をありがとうございます。最前線で、また街角で、そしてタイムズ・スクエアで、いつも協力してくださってありがとうございます。そして、私の友となってくださってありがとうございます…まだまだ「ありがとうございます」は尽きません！

ビル・ウィルソン Bill

ケニア キャンプ支援募集!



ケニアのキャンプが１２月に開催されることになりました！

この日帰りキャンプに参加する子どもたちは、朝から思いっきり遊びを楽しみ、３度の食事を摂り、福音の恵みをいただきます。次に食事ができるのはいつかわからないような毎日を送る子どもたちにとって、キャンプで経験する時間が、どれほど価値があることかを想像してみてください。そして、この厳しい状況の中で子どもたちがイエス様と出会う重要性も…。

皆様のお祈りと、ご支援をよろしくお願いいたします！

ケニアキャンプ １件 10,200 円　締切り ９月28日(火)
https://metroworldchild.jp/ke-camp/

フィリピン クリスマスカード受付開始！

時期的にクリスマスカードは手に入りにくいかもしれませんが、普通のカードや手作りカードも喜ばれます。英語か日本語で、サポートしているフィリピンのお子さんにメッセージを書いて、日本事務所宛にお送りください。

〒104-0061
東京都中央区銀座 4-5-1 教文館６階 ＴＦＣ内
メトロ･ワールド･チャイルド日本事務所

クリスマスカード　10/25 日本事務所必着

定型サイズの封筒（縦横 23,5cm x12cm x 厚さ 1cm 手紙を含めて重さ 25g 以内）にヘアアクセサリーやシール、写真、しおりなどのプレゼントは同封していただけます。

再掲　大切なお知らせ

ケニアの子どもたちは
スポンサー代によって
毎日給食を食べることが
できています！

再引き落とし及び手数料について

子どもたちを確実に支援するため、2021年２月より引き落しができなかった月のスポンサー代を、翌月に再引き落しをさせていただいております。引き落としには多くの手続きや手数料が発生しますので、１回の再引き落としにつき、１１０円の手数料を追加させていただきます。

再引き落としが必要な方は、メトロレポートに同封されている「今月の引き落とし金額のお知らせ」に「スポンサー代 ○月分」と記載されますので、引き落とし金額をご確認ください。

残高のご確認をお願いします

お手数ですが引き落とし日前までにご登録の口座残高をご確認くださいますようお願いいたします。９月の引き落とし日は、９月１６日（木）です。

スポンサー代金が3ヶ月支払われない場合は、子どもの命にかかわるケースもあるため、
スポンサー契約を終了し、すぐに新しいスポンサーを探すことになっていますのでご了承ください。

日本事務所からの重要なお知らせとお願い

再引き落としについて！

残高不足等で引き落としができなかった場合は、次月分と合算して再引き落としさせていただいております。

再引き落とし手数料として 110 円を追加させていただきますので、ご了承ください。

確実に引き落としできるように、お手数ですが、引き落とし日前までに口座の残高をご確認くださいますようお願いいたします。９月の引き落とし日は、９月１６日（木）です。

再引き落としについての詳細は、１月号のレポートまたは、以下のホームページアドレスでご確認ください。

metroworldchild.jp/2021/information/4151/

ケニアクリスマスカード！

先月号で募集をしたケニアのクリスマスカードは、９月 17 日まで受け付けております。以下の注意点をご確認いただき、日本事務所までお送りください。

- クリスマスのデザインでなくても OK です。
- サポートしているケニアのお子さん宛に、英語か日本語でメッセージをお書きください。
- 封筒サイズは縦横 23,5cm×12cm×厚さ 1cm 手紙を含めて重さ 25g 以内です。
- ヘアアクセサリーやシールなど、小物のプレゼントは封筒に同封できます。

〒104-0061
東京都中央区銀座 4-5-1 教文館６階 ＴＦＣ内
メトロ･ワールド･チャイルド日本事務所

スポンサー募集！

スポンサーのお申込みは､HP からできるようになっています。ぜひお知り合いの方にメトロをご紹介ください。

メトロ　スポンサー申し込み　検索

https://metroworldchild.jp/apply-for-sponsor/

また、メトロの働きを詳しく紹介したホームページもございますので、ご活用ください。

metrogenerallp　検索

https://metroworldchild.jp/metrogenerallp/

なお、必要でしたらメトロの紹介資料をお送りいたします。日本事務所まで必要部数とお送り先をご連絡ください。

日本事務所よりごあいさつ！

今年も早いもので９月を迎えました。秋はもうすぐそこです。皆さんが、コロナ･ウィルス感染症の様々な悪影響から守られて、心身ともに健康であるようにと祈っています。

厳しい状況の中でスポンサーを続けてくださっている皆さんに、心から感謝しています。貧困地域の窮状はひどく、ワクチン接種ができるか、重症患者を受け入れる病床があるかどうかでやきもきする日本の比ではありません。そもそもワクチンなど行き渡るのかどうかもわからない地域で、コロナより先に飢え死にするかが問題の毎日です。

また、アフガニスタンの政情の急変のために、お祈りと献金を捧げてくださっている皆様にお礼申し上げます。

メトロの働きを支え続けてくださる皆様の上に主イエス･キリストの圧倒的な守りと恵みが、豊かに注がれますようにと祈ります。

日本事務所代表　万代栄嗣(まんだい えいじ)

メトロ･ワールド･チャイルド日本事務所

所在地　〒104-0061
東京都中央区銀座 4-5-1
教文館６階 ＴＦＣ内
電　話　03-3561-0174
ＦＡＸ　089-925-1501
メール　metrojapan@mission.or.jp
URL　https://metroworldchild.jp/

すべてのお振り込みは、下記宛にお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金　００４１６１０
郵便局：記号番号　０１６５０-３-４１６１０
口座名義はどちらも同じ
メトロ･ワールド･チャイルド･ジャパン